

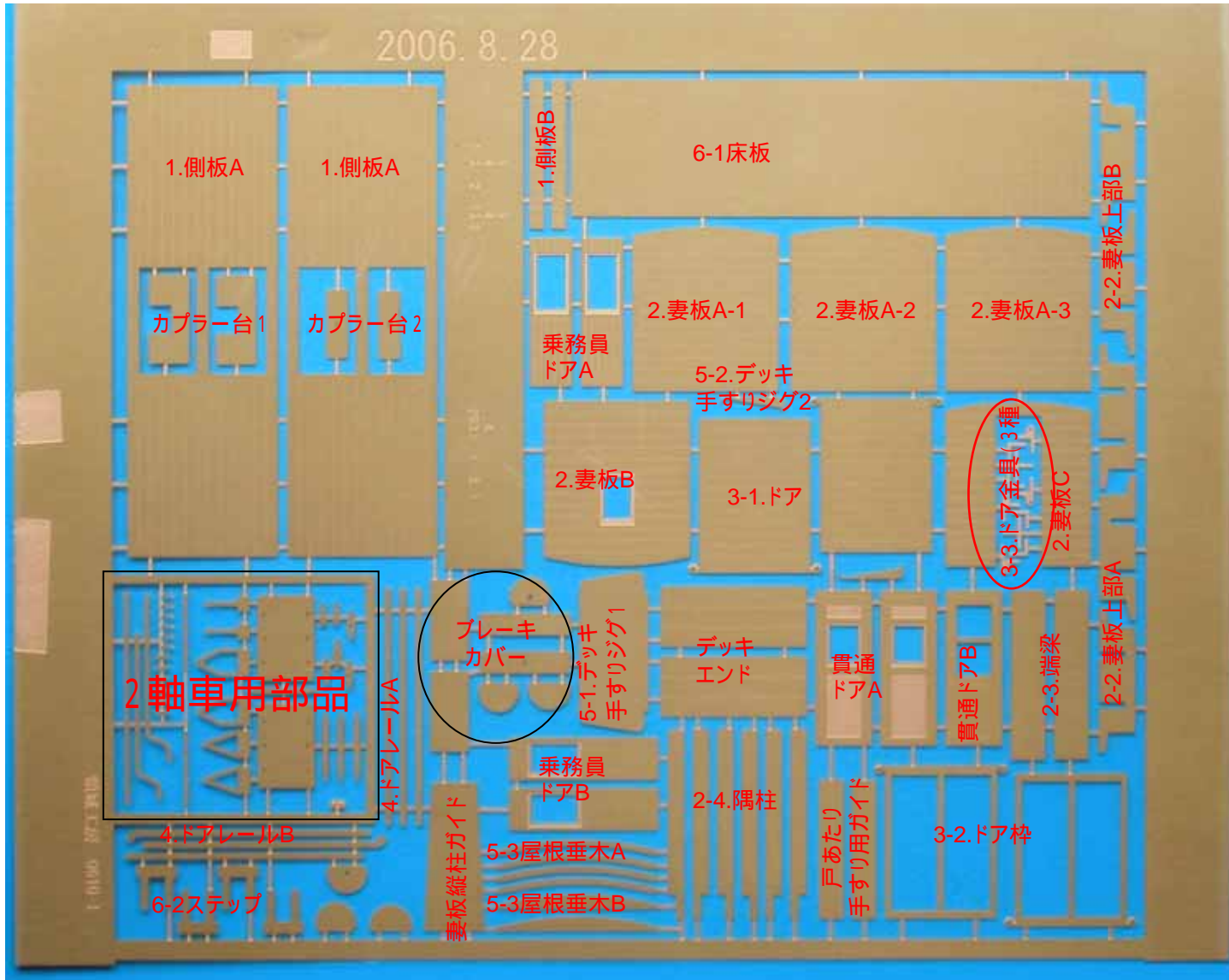
# 有蓋貨車組み立て説明



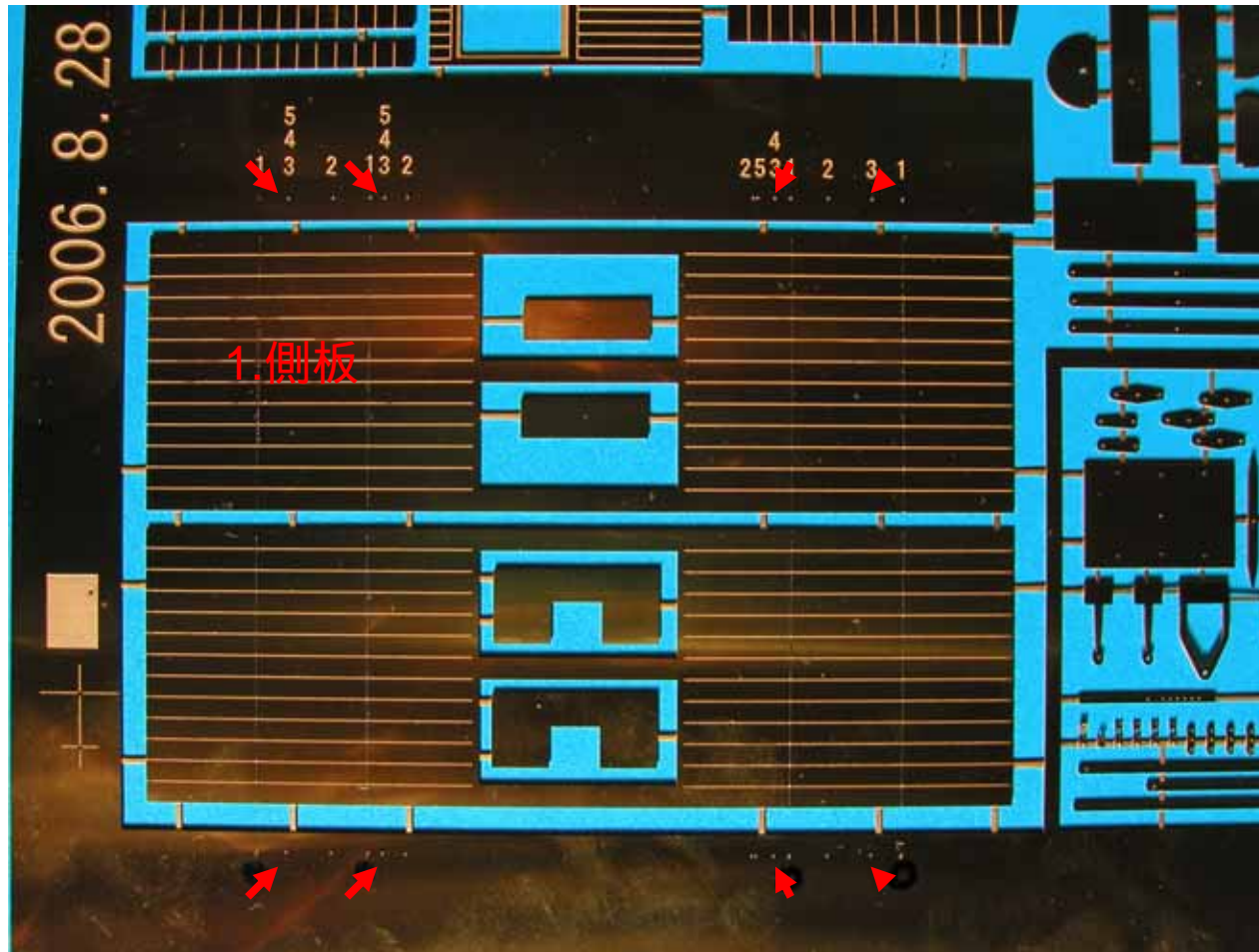
# はじめに

- このキットは草軽コワフ31を製作するためのものですが、側板を切断したり、妻板やデッキを変更することにより、各種の日本型軽便の有蓋車を作ることが出来ます。
- スケールの的にプロトタイプに忠実なものではありません。
- 基本的な作り方は、コワフ31の組み立て説明を参照してください。
- 内容は部品の説明、側板の切断箇所と縦柱のけがき位置の決め方、妻板、ブレーキハンドルの作り方を解説しています。そのあと、各タイプに用いた側板、妻板、ドアの方向、その他の部品について解説しています。
- 別添図も参照してください。

# A. 部品の説明(0.4mm厚真鍮板)

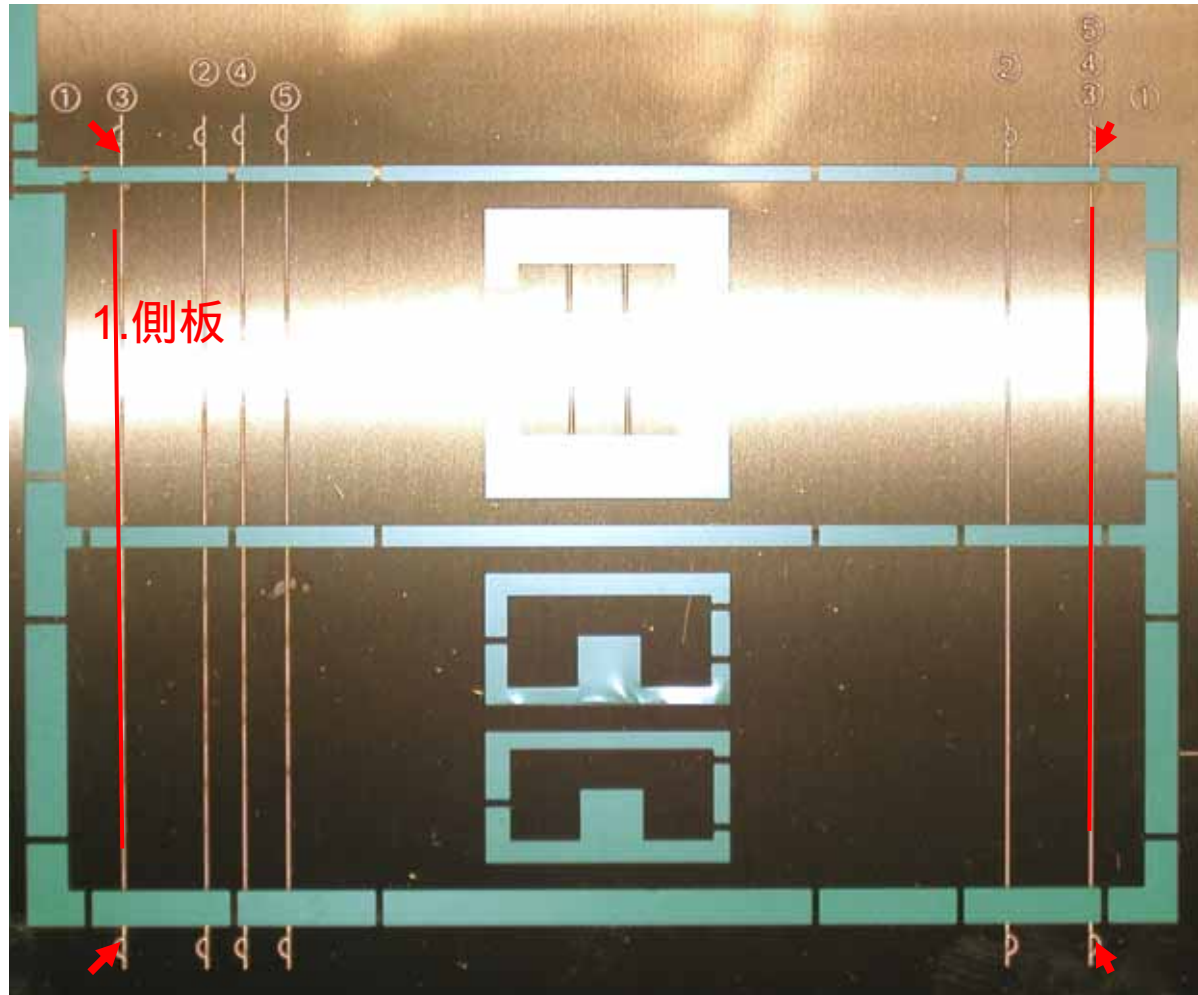


# A. 側板の製作-1



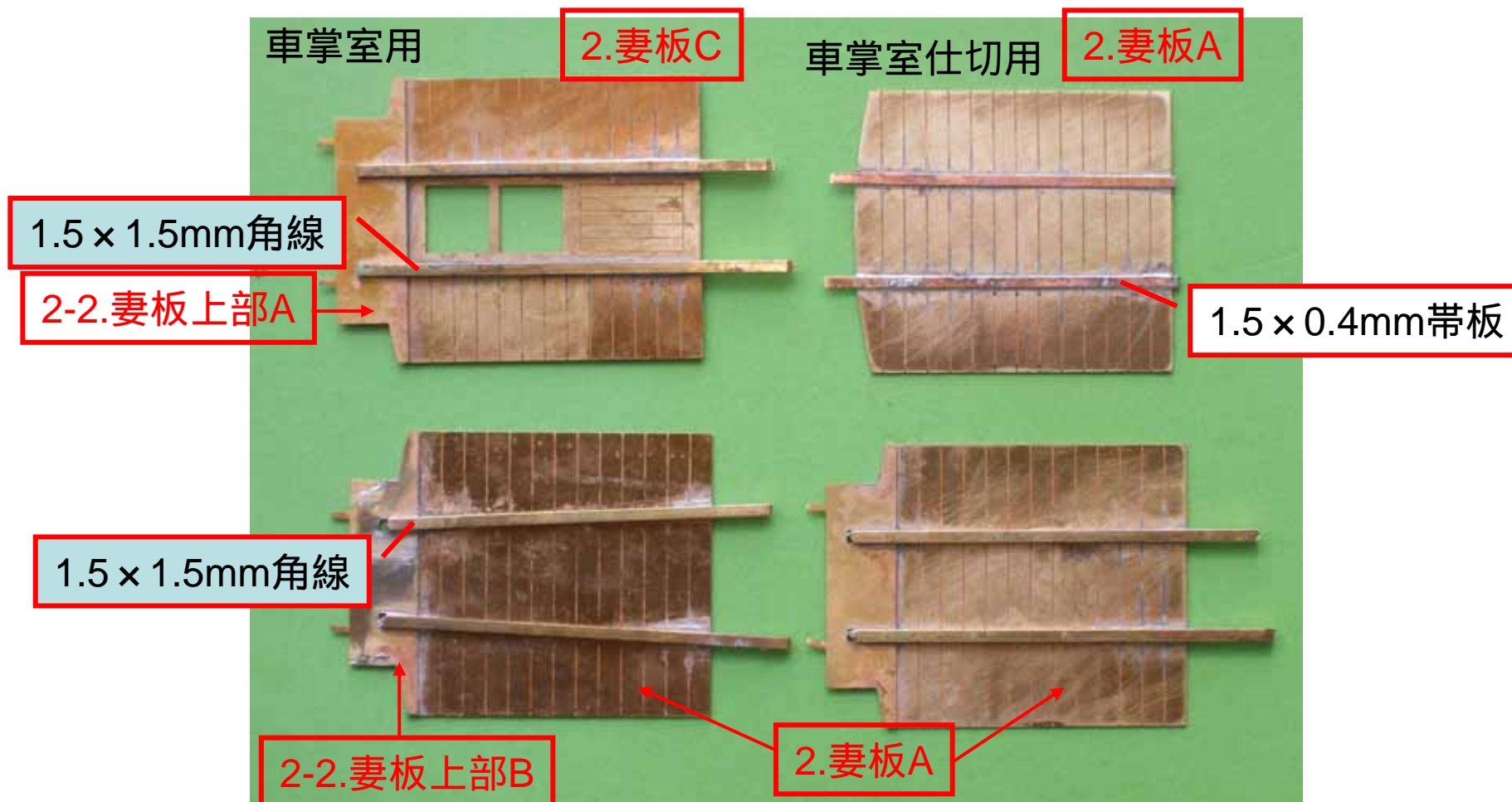
エッチング板ランナーの各の数字の下にある穴(赤矢印)とその直下にある穴(計4カ所)を目印に、側板柱の位置を示すけがき線を引きます。上の図では3の場合を示します。側板柱(次ページ1.5×1.5角線)はけがき線の外側に付けます。

# A. 側板の製作-2



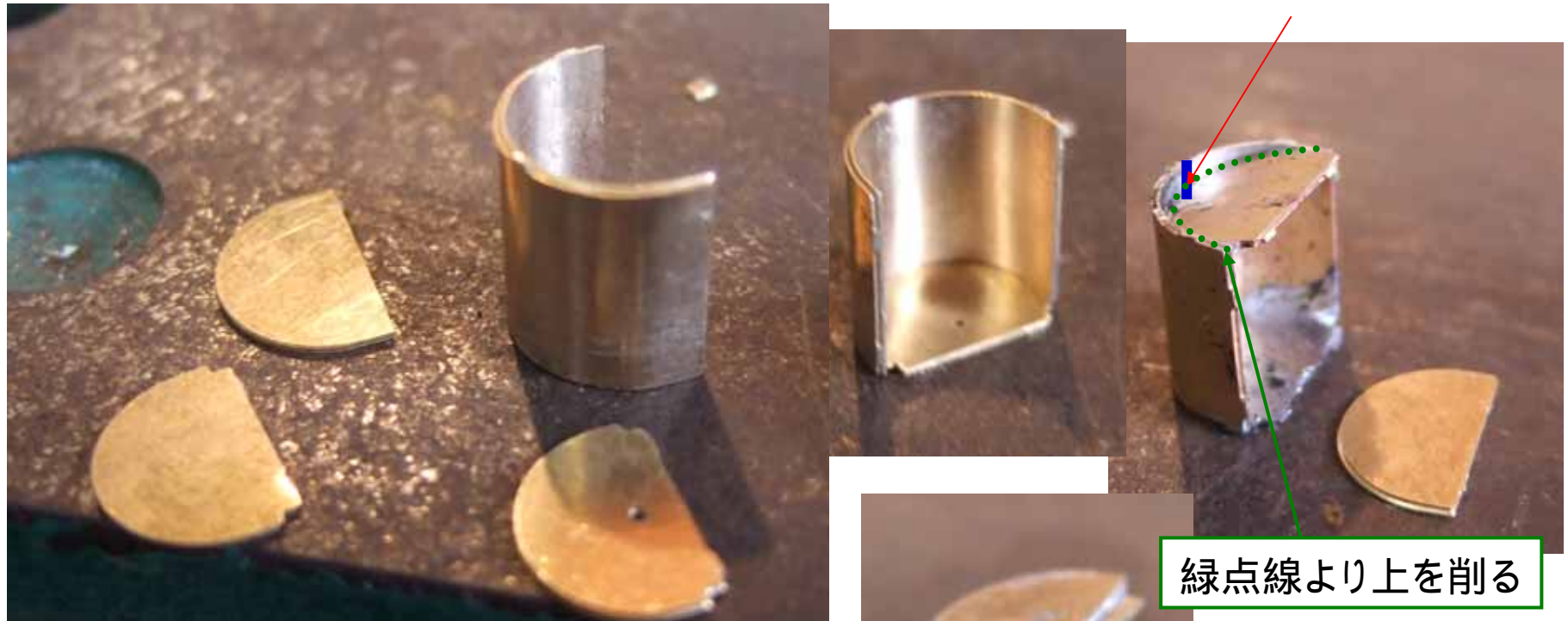
エッチング板ランナーの数字に沿ったスジを目印に、側板の端部を切り取ります。上の図では3の場合を示します。赤い線を目印に切り取ってください。

# B. 妻板の組み立て



妻板縦柱ガイドを使って縦柱の位置を決める

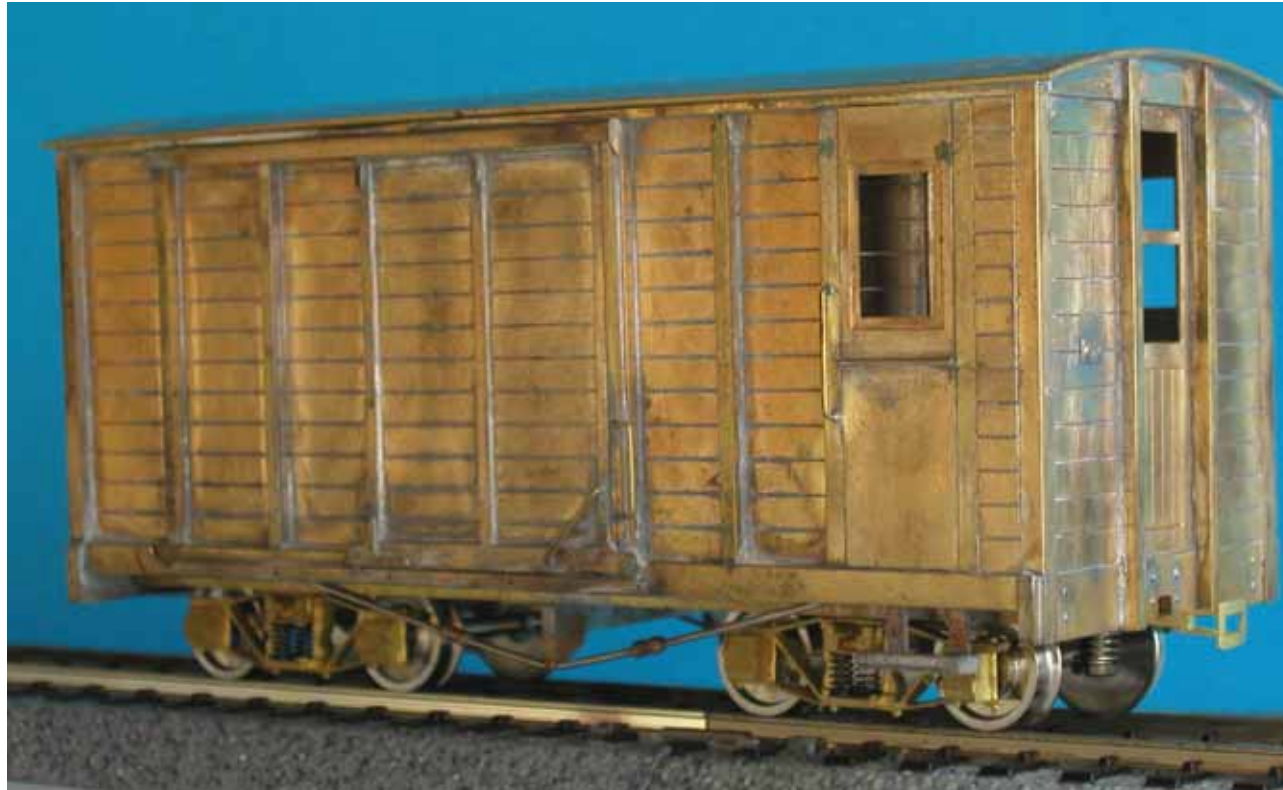
# C.ブレーキカバーの製作



にあわせて を曲げ、 を付けます。  
を1mm傾くように付け、 の出っ張った部分を削ります。  
を上につけます。



# 1. 井笠ホワフ1風-1



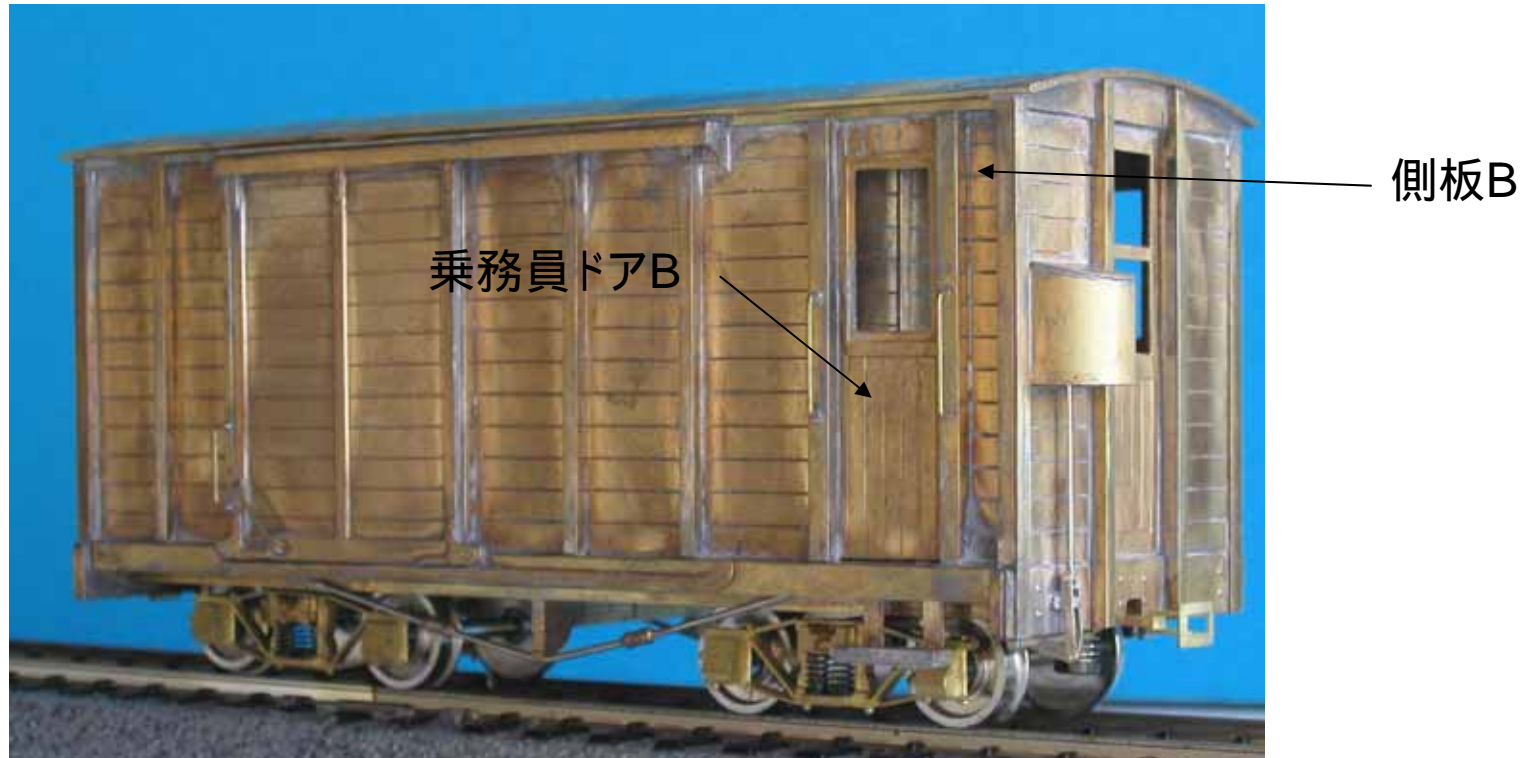
側板Aは 、車掌室ドア外側(車端側)は側板B使用。  
妻板はC(車掌室側)とA。  
妻板上部はA(車掌室側)とB。  
車掌室仕切に妻板A。  
乗務員ドアはB。  
貫通ドアはB。  
ドアレールはB。  
ドアは両側とも車掌室反対側に引くようになっている。



# 1. 井笠ホワフ1風-2



## 2. 井笠ホワフ6風-1



側板Aは 、車掌室ドア外側(車端側)は側板B使用。  
妻板はC(車掌室側)、A(反対側)。  
妻板上部は両端ともにA。  
車掌室仕切に妻板A。  
乗務員ドアはA、貫通ドアはB。  
ドアレールはB。  
ドアは両側とも車掌室反対側に引くようになっている。  
ブレーキハンドルカバー使用。

## 2. 井笠ホワフ6風-2



# 3. 井笠ホワ1風



側板Aは 。  
妻板は両側ともA。  
妻板上部は両側ともにB。  
ドアレールはB。  
ドアは両側とも向かって右側に引くようになっている。

## 4 . 井笠ホワ2風-1



側板Aは 。  
妻板は両側ともA(反対側)。  
妻板上部は両端ともにB。  
ドアレールはB。  
ドアは両側とも車掌室反対側に引くようになっている。

# 井笠ホワ2風-2



## 5 . 草軽ワフ9-1



側板Aは 。  
妻板は両側ともにA。  
妻板上部は両端ともにB。  
ドアレールはA。  
デッキはジグ1に2を付けて長方形とする。  
ドアは両側とも向かって右側に引くようになっている。  
下回りは2軸車仕様。

## 5 . 草軽ワフ9-2

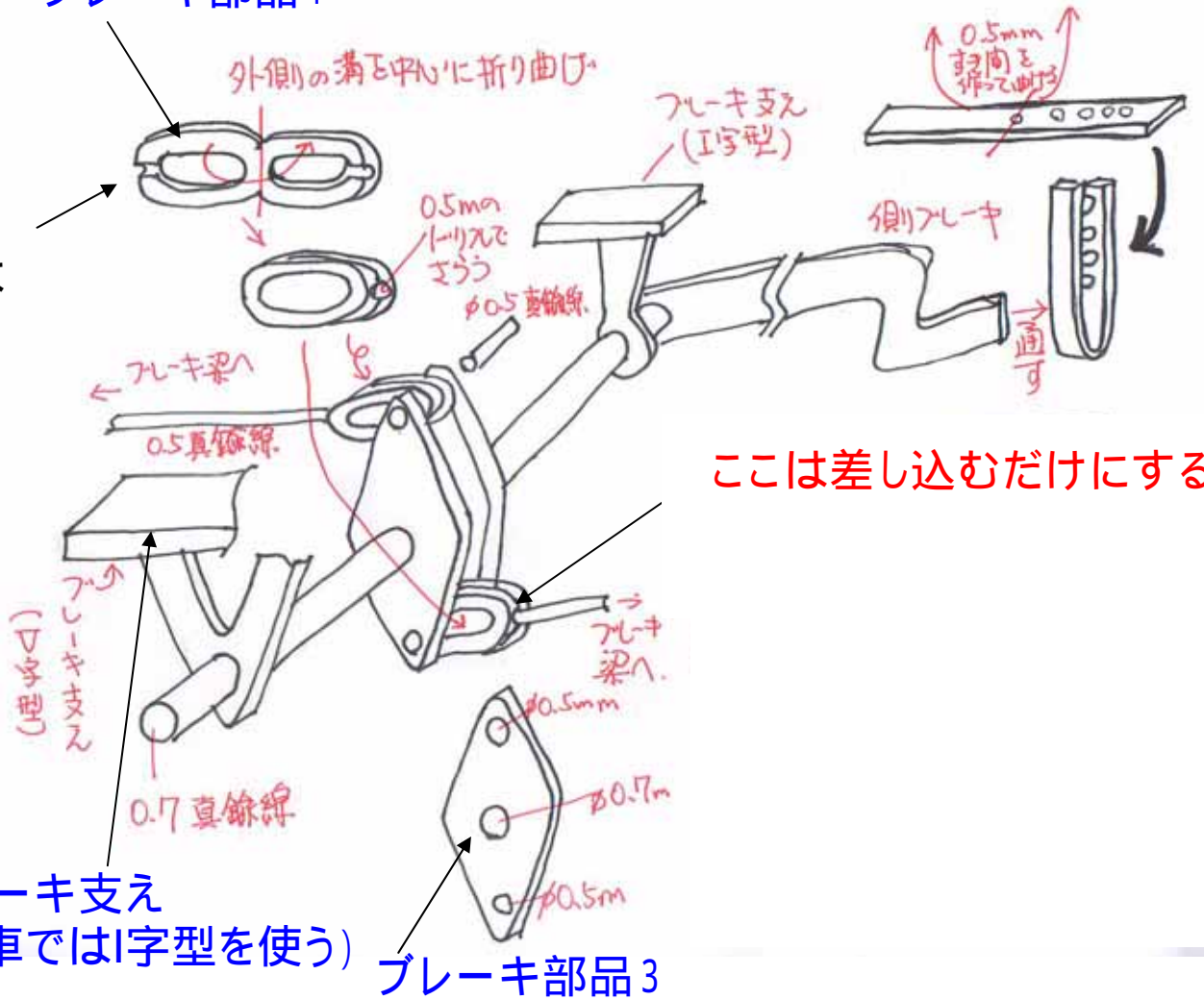




# ブレーキの組み立て2

ブレーキ部品1

この部品は別の形になっています。



ここは差し込むだけにする